令和８年度　学校運営協議会　第１回未来へつなぐ学び部会　議事録

実 施 日 時・場所	令和８年 10 月９日(金)　　13：35～14：35
出 席 者	学校運営協議会委員　１名 教職員８名 敬称略
	（１）学校長挨拶 本日はお忙しい中、本校の学校運営協議会にお越しいただきありがとうございます。本校は今年度で ICT 利活用授業研究推進校の５年目を、高等学校 DX 加速化推進事業（DX ハイスクール）採択校として３年目を迎えました。その成果として、全国から視察がきたり、講師として他県で講演をしたりしています。また、通級による指導も行っており、困り感を抱えている生徒を個別に支援しています。今年度は 11 月 20 日に公開研究授業が行われます。また、10 月には専修大学一日体験に参加させていただきます。本日は生成 AI や iPad、iMac、電子黒板を用いた授業を実際にご覧いただき、ご意見などをいただけると幸いです。 （２）　本校の近況、今年度の取り組みについて 本校は、2022 年に ICT 利活用授業研究推進校の指定を受けてから、ICT を用いた授業作りに力を入れて取り組んできました。チームイクヒを合言葉に、学校全体で ICT を用いた授業改善に取り組んでいます。2023 年には生成 AI パイロット校として指定され、授業では積極的に生成 AI も活用しています。生成 AI を使う場合には、使用方法に注意するなど、情報リテラシーについても教えるようにしています。公開研究授業も今年で５年目になりました。今年度も外部から講師を招き、質の高い研修会を実施できるように準備しています。 カリキュラムにおいては、新カリキュラムの完成年度になりました。特に、DX ハイスクール採択校として、情報の授業を手厚くしています。具体的には、２年次に情報Ⅱ、３年次に情報デザイン、情報システムのプログラミングを必履修科目とし、多くの生徒が情報の授業を履修できるようにしています。また、新しい学習指導要領に対応できるように、今後も検討していきたいと考えています。 （３）　意見交換 ・生成 AI パイロット校、高等学校 DX 加速化推進事業採択校、ICT 利活用授業研究推進校の高校は何校ありますか？ →生成 AI パイロット校は神奈川県では本校だけです。また、高等学校 DX 加速化推進事業採択校は現在では全国で約 50 校、ICT 利活用授業研究推進校は神奈川県で５校です。 →ICT に力を入れている学校だということがわかりました。 ・大学ではパソコンを使う場面が多いですが、タイピングはどのように指導していますか？ →情報Ⅰの授業で扱っています。今の高校生はスマホを使う場面が多いため、タイピングに慣れている生徒と慣れていない生徒の差が大きくなっている印象です。 ・生成 AI を用いるとグラフが簡単にかけてしまいます。 →使い方を教えることも重要だと考えています。 ・高校では生成 AI を授業の中でどのように使っていますか？ →国語では、インタビュー活動などで使っています。一方で、自分で考える力を養うために工夫が必要だとも考えています。いかに思考力や判断力を養うことができるのか、ということを頭に置きながら授業を組み立てる必要があると思います。 →数学では、論理性を養うために、生成 AI を説得するという取り組みを授業で行っています。なぜかを考え、会話形式で論理的に相手を納得させる表現を養っています。 →社会では、授業のまとめの段階で生成 AI を使っています。授業で学んだことを生成 AI に尋ね、生成 AI をファクトチェックに利用しています。この取り組みを行うことで、学びの自己調勢力も養っています。 （４）　授業見学